

千島・日本海溝における 巨大地震の被害想定が発表されました

この地震は300~400年に一度の割合で発生しており、過去の津波の堆積物の調査よりすでに400年程度経過していることが明らかになっています。

マグニチュード**9**以上
死者**19**万人
20mを超える巨大津波
経済損失**30**兆円超え
90万人を超える避難者

これは最大被害想定です。他にも北海道ならではの被害の危険性も叫ばれており、特に冬の深夜の避難は積雪・路面の凍結などの影響で思うように進まず、津波による犠牲者が増えると推測されています。また、備蓄食料は不足、小売店では数時間で商品が売り切れ、長期による停電や断水…地震発生後も予断を許さない状況が続きます。

しかし、防災対策で犠牲者を**80%**減らせると推計されています。

従って早急に巨大地震に対する警戒、備えをする必要があります。
自分の命、家族の命を守ることはもちろん、一人でも犠牲者を出さない
ために防災士を取得し、防災・減災活動の輪を広げませんか。

代表
北海道防災士会
横内 春三氏 他



北海道文化放送
気象予報士 菅井 貴子氏



北海道大学
地震火山研究観測センター
准教授 西村 裕一氏

詳細はこちらから！



日 時：令和4年9月17日・18日 2日間
会 場：札幌商工会議所付属専門学校 体育館
定 員：100名（最少開講人数50名）

日本防災士機構認定
札幌商工会議所付属専門学校主催

防 災 士 講 座 資 格 研 修